THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷　第十八號

每週金曜日發行

大正五年四月廿八日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□良家庭の公開……小橋三四子

□時事週評

□漸く光明に向へる婦人…法學博士　奥田義人

□一人一評―跡見花蹊

□名士と其母（八）久留島武彦氏

□青年の危機と指導者

▽誤解され易き青年……高島平三郎

▽事前の備へ……佐藤任天

▽心身の素養……淺田みか子

□櫻を慕ひ來し米國女詩人の死

□端午の節句と子供……野口幽香子

□新刊紹介―「目白生活」

□衣食住に於ける汚いといふ事…薄田斬雲

□無錢療法……某醫師

□子供の智惠―灰を撒けば花が咲く―小さい共鳴

□金魚の飼方……千葉晩香

□端午の節句菓子……櫻井ちか子

□世界史お伽譚―ハンニバル橋拔きの妙計…斬雲

□小說「窮鳥」……松本雲舟

□名女傳「ブラウニング夫人」（下）……翠子

□時事……公娼廢止運動費寄附者……編輯室より

定價一部四錢五厘　郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

到る處で
大層
評判の高い
ライオン化粧石鹸は、
何處の御家庭にも愛用されて、
素晴しい賣行を示して居ります。
品質がよくて、お徳用で、匂がよくて、
肌の爲によいライオン石鹸ですもの！

ライオン歯磨
ライオン石鹸 本舗 小林富次郎

(466—5)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

良家庭の公開

□痛ましき時代の犧牲

數年前一時文壇に自然主義が流行した事がありましたが、當時高級の文藝學校に籍を置いて學んだ數十人の女生徒がありました。何れも研究の爲めと云つてはあらゆる文藝雜誌を讀み、小説を繙いてわれこそは時代に精通して居る者よとの誇りを競うて居りましたが、最近必要あつて名簿を繰り返して見ると、この級の人々に限つて揃ひも揃つて、面白からぬ結果に陷つて居る者が多きを見出し、いかにも痛ましさに堪へませんでした。時代の犧牲と申しませうか、かの文藝の中には、所謂三文文士が徒らに遊興の費を得んが爲めに、筆を走らした無價値なものも多分にあつたでせうに、無垢な心にこれほどの恐ろしい中毒を與へて、遂に返らぬ幾多の人の生涯を誤らして終ひました。

□木乃伊取りの木乃伊

世の親は子供が成人する迄には、随分身體の健康に就て苦心致しますが、之れに續いて起る青年期の精神上の危機に就いては、目に見えぬ儘に、割合に疎かにせられて居ります。丁度みづ〳〵しい若葉が延びて行くやうな、非常な速力で發育する彼れ等青年の心理には、餓えたる人の如く、時代の思潮は吸ひ込まれて行きます。外界のものを批評し、抵抗しながらも、木乃伊取りの木乃伊になる例の多いのを見れば、思想が人間に及ぼす感化のいかに大なるかを今更らに驚かる丶次第であります。

□遠巻きに作る境遇

さればと云つて、親や監督者が讀書の端くれ迄、干渉するやうでは、徒らに青年の反抗心を增さしむる計りで、決してよい指導にはならぬと存じます。此處に青年を導く非常な困難が横つて居ります。我が國の家庭や學校には、もう青年になつたから指導者の手に終へぬと全く放任するのでなければ、讀書、交友の末迄も、全く長者の權威の儘にさせやうと嚴しい干渉する、この二種類に出づるもの多くはありませんが、何れも青年を取扱ふに當を得たものではありますまい。最も有効な方法は、彼れ等の趣味を善導するやうに、遠巻きにその境遇を作つてやり、自發的に高潔な思想を慕はしむるやうにさせる事にあらうと思はれます。

□時代後れの家庭が多い

「宗教と家庭とは最も保守的なものである」と云はれて居りますが、諸種の文化が長足の進歩を致した中にも、家庭は最も時代に後れて居る感があります。これ等多くの家庭の父母が、忽ち新らしい思想を理解し、眞に青年の友となつて進んで行くやうにとは一朝にして望まれぬことであります。もし進んだ考へを持つた夫妻あり、比較的廣い邸宅を持つて居る家庭があれば、進んでこれ等青年男女の爲めに、家庭を公開して、樂しい社交の機關、娯樂を與へる所となす傍ら、青年に高潔な趣味を養はしむるやうにする事は、決して出來難い事ではなくて、彼れ等家庭なきにも等しき人々の爲めに、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

必ずや、非常な満足を與へ得る事と存じます。

□其の方法の二三

近來諸種の慈善事業や社會的運動が婦人の手によりて營まれ、これに多大の寄附金をも集め得るを見れば、世人は漸く社會的に多數の人々と協力一致して働らく氣運の養はれた事と、慶賀に堪へぬ次第であります。良家庭の公開も、今日の氣運に於ては、決して空虛な望みには終るまいと存じます。最も開始され易いのは、教師の家庭に其の子弟を出入せしむる事、上役の家庭に部下の家庭の子女を招いて、樂しく遊興せしむる事等で、これ等は今日迄も多少行はれ來たのでありますが、その方法をもつと組織的、教育的に改善すればよいのであります。例へば春秋の二期に今迄義務的にした招待會を廢して、週に一度或る日の午後を公開し、其の出入に窮屈を感せしめぬやうに設備をするとか、また單に饗應は飲食する丈けでなく、否却つて飲食は極く手輕にして、音樂や遊具を備へ、或はよい書物の貸出方法を講ずる等、餘り金を掛けずに面白い方法を案出する事が出來ませ

う。これは目下社會の要求する事業の一つなる事は疑を容れぬ所であります。（三四子）

時事週評

▲**袁氏退位準備**　支那では段祺瑞氏の新内閣が出來ましたが、それは袁氏が退位するに就て時局を收拾するためだといはれてゐます。袁氏退位後は、黎元洪が其後を繼ぐさうです。支那のことですから容易に信ぜられませんが、若し斯かる變革ありとすれば、それは財政困難の理由からだと申せませう。南北共に戰ふの意なしといふのも、戰ふべき費用がないからでありませう。財政難が袁氏をして退位せしむといふのは面白い現象です。

▲**露軍佛國に上陸**　現在のヴエルタン要塞戰は獨軍にとりても聯合軍にとりても勝敗の分れる所なので、聯合軍では共同防備の必要を感じ、露軍三萬、此頃佛國マルセーユに上陸したさうです。三萬の露軍がどれだけの勢力を増すか疑問ですが、兎に角ヴエルタンの防禦戰は史上に特筆大書すべき事でありませう。

▲**飛行界の刺激**　スミスの宙返飛行が大風の日に行はれたことから、わが飛行界の幼稚な事が、飛行家自身のみならず、世人にも能く解つて來たことは喜ばしい次第です。此程頻りに宙返飛行の必要を唱道されるのもそのためであります。空中に於て燕や雀と同じ行動をとることが出來るやうになるのが、飛行

二

の理想でありとすれば、宙返といふ技術は其理想に達する最も善き手段と申さればなりません。

▲**育英資金と學生**　東京府では御大典育英資金といふものを作りましたが、今回理化學に志ざす者六名に學費を補助する事になつたさうです。その補助金額は一月十圓位のものですが、東京市ともあらうものが、一人十圓の金を僅か六名に支給して得々としてゐるのは情けない次第です。尠くとも一度に百名位の苦學生に學資を出してやるやうにしたいものです。

▲**海外出稼女驅逐**　英國政府はシンガポールの大廓清をやるといふ話は昨年から傳つてゐますが愈々醜業婦取締規則を立案中だと聽きます。さうしたら、日本の出稼女も驅逐されて、生きて鄕里の土を踏むことが出來ませう。その中には全たく惡漢に誘拐された氣の毒な婦人も多い事だらうと思はれます。かゝる驅逐の實行の日が待たれます。

▲**小倉孃の歸朝**　ピアニストとして世界的名聲を馳せたと稱せられる小倉末子孃が此程歸國されたさうです。新聞で評判されるほど實際の妙手であつてくれゝばよいと思ひます お手並を拜見したいものです

▲**警官の兄妹心中**　銚子の濱にて横濱市の警部補穴澤精逸と其實妹渡邊つた子との心中は今週の出來事中大に人目を引きました。兄と妹が勿論痴情の關係でなく、人生不如意を悲觀して心中を遂げた事はいかにも憐れな、又美しい事とも申せますが、その半面に於ては、いかにも意志の薄弱なるを思はればなりません。新聞では穴澤氏は哲學書を耽讀したのが原因だと書いてありますが、哲學は決して人に死を勸めはしないと思ひます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

漸く光明に向へる婦人

東西共に其の歴史は慘憺

東京市長 法學博士 奥田義人

□女大學の骨子

世界何れの國に於ても、婦人程慘憺たる歴史を持てる者はありません、教育にしても我が日本などは、女子に系統的の學問を授くるやうになつたのは、近頃であります。十九世紀迄は歐米にても、法律上に於ては、女子は人格を認められず、物件と同一視されて居つたのであります。殊に我が國婦人の金科玉條として、今尚ほ多數の人の頭を支配して居る女大學は、人も知る如く貝原益軒先生の作られたものでありますが、其の骨子とする處は、遠く千四百年前の大寶令から出て居ることは明らかであります。例へば七去の理由とする子無き女は去るべし、嫉妬深き女は去るべし、惡疾ある女は去るべし等云ふは、正に大寶令に於て離婚の理由として定められたものでありますが、これ等は何れも女子を物件視したものと見らるゝのであります。

□歐米は更らに悲慘

歐米の昔は、婦人を物件視する事は、今一層甚だしいものでありました。嘗てウエシユデンマルクの「結婚の歴史」といふ書物を讀んだことがありますが、昔は婦人を掠奪して妻とし、次には金によつて買ひ、或は物品と交換し、尚ほ婦人を贈與の目的として扱つた。然るに近世に於ては、男女は自由の意志に基いて結婚するに至つた。これは女子が男子を征服するに至つた歴史であると書いてあるのを見れば、この變遷を經て、今日に至る迄には、幾多の婦人の血と涙とが絞られたことでありませう。

□依然として贈與の目的

支那に於ては古來結婚に納聘といふことが行はれ、この納聘なきものは、法律上正當の結婚と認められませんでした。之れは當に婦人を賣買したものであります。日本に於ても結納といふことがあつて、結婚に先ち、夫の方から妻の方に金錢物品を贈る習慣のあるのは支那の納聘の傳來したものでありませう。尚ほ我が國の結婚は、現今に於ても、娘自身は餘り先方を知らずに、只尊屬親の意見によつて、婚嫁を定めらるゝのは、依然として女子を贈與の目的として居るもの、と見る事が出來るのであります。

□世人が疑念を挿む點

然らばかやうに人の數ともせられなかつた婦人が、實際は如何なる有樣であつたかと云へば、古來幾多の良妻出でゝ内助の功を擧げ、幾多の賢母輩出して、人才を哺んで居るのであります。之れは確かに女大學に編み込まれて居る單純な精神に侮り難き立派なものがあるのであつて、我が國婦人が女大學の形式に捉れずして、よくその根本の精神を汲み取ることが出來たによると見らるゝのであります、近來女子の教育は進み、智識は養はれましたが、精神上に於て稍もすれば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女大學の下に養はれた婦人に及ばぬこと遠きものがあるのは、誠に遺憾とする所であります。この點が婦人に敎育を授くるに就て、世人の疑念を挿む所でありま す。

□堅實な精神

私共は直接に女子敎育に關係して居るのではないが、女子敎育家と相提携して大にこの點を考慮したいと思ふのでありま す。即ち眞に婦人の發達を希ふならば、たとへ世人は頑固と評しても、堅實であり、輕薄の風潮に染みることが無いやうにしたいものであります。既に敎育を受けた先輩は、身を以て後進を導かるゝやうにせられ、智能と共に、堅固な精神を持たるゝやう、健闘せられんことを切に希望致すのであります。(日本女子大學校創立十五周年記念式に於ける祝辭の大要)

一人一評

跡見花蹊

◎下田歌子を『男子であつたら立派な總理大臣の器だ!』と伊藤公が評したと云ふ。吾等は一轉語を下して『花蹊が男であつたら大隈伯の顰を厥し、國務大臣の椅子を占めたらう』と云ひたい。人氣を取り、相手に依て語り、世間の風向を察するに妙を得る點に於いて老伯と老女史とは——年齒が一つ下であり、女性なる爲に、老女史が老伯に一等を輸するかも知れぬ。が、先づ兄たり難く、妹たり難いやうに思ふ。

◎大隈伯が早稻田大學の前身たる東京專門學校を創立した時、世の中の人達は『かくして乾兒を造り徐に後圖を策するのだ』と噂した。この批評に對して『……邪推だ!』と大隈伯は云ふた。が、決して邪推ではなかつた。花蹊女史が跡見女學校を建てた動機は知らぬ。併し老女史が依然として我が國の婦人社會に好評あり、尊敬されるのは、その門下に多數の貴婦人を出し、且つ其の門下生を巧に操縦—語弊があれば威壓するに依ると見るも不可はあるまい、棚橋、三輪田等の女流敎育家が遠く此の老女史に及ばぬのも、政治家としての手腕に乏しいからであらう。

◎この點に於いて跡見女史は大隈伯に劣らぬ手腕を持つてゐる。が、大隈伯が百廿五歳說を主張して、容易に引退し相にないにも拘らず老女史は近く喜壽の祝宴を開き、且つ跡見女學校に於ける當面の責任者たる地位を退くと云ふ。老女史の爲には、功成り、名遂げての勇退であり、門下生に取つても嬉しいことであらう。が、この老女史を我が女流敎育家の中から拔取ると云ふのは、確かに寂しい、物足りぬやうな心地がするのである。

(各湖學人)

噂

四

▲小石川林町の海老名彈正さんのお住居は、閑靜な自然木が庭に茂つて居りますが、近頃訪づれた人が此處彼處の木の枝に牛脂が糸で吊してあるのを見て、不思議がつてお尋ねすると、奥さんは「かうして置くと小鳥が澤山來て、歌をうたつてくれます」と申されました。西洋の雜誌でお讀みになつて、早速試めさるゝと、いかにも小鳥が訪れてくるさうです。殊に四十雀などは澤山に來ると申します。▲女子大學の校長成瀬仁藏氏は、近く澁澤男爵の歸朝を横濱の阜頭に迎へに行かれた節、海から照り返へす日を受けて、暑くなつたので、外套を脫がうとすると、上着を着て居られないのに氣がつかれて、汗を流しく厚い外套にくるまつて居られたさうです。▲瓢逸で鳴つた目賀田男爵夫人は、爺やを相手に薪割りをもなされます。此の間は男爵宛によこされた朝鮮留學生の學費を、御自分で日本銀行に取りに行かれました。銀行では委任狀がないので、外の方には渡されない、「あなたは何方ですか」と尋れたので、「私は目賀田の家内です」と云つて、無事に金子を請取つてまゐられたさうです。▲昨年自動車の奇禍に逢はれて、危く一命を取り止められた久野久子女史は、再び樂壇の人となる事はむづかしからうと噂されたにも拘らず、天祐か怪我は凡て急所を外れて居つたので、其の後回復せらるゝと同時に、持病をも一掃して、舊より丈夫になり得たと申します。廿二日女子大學の演奏會に臨まれて、得意のベトーベンの曲を彈ぜられましたが、其の指端の觸るゝ時グランピヤノさへも、動くやうに覺えました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（八）

久留島武彦氏

□

父は脳病で全く私の養育に與らなかつたから、僕に何の印象も殘つて居ない。僕は母の手一つで育てられたのです。もう一つ僕自身の言葉で云つては變ですが僕の家系が兎に角華族であると云ふ處から、母が田舍で僕を生み田舍で育て丶居りますうちにも、常に宗家に對して萬一の事ありては相濟まぬと云ふ考で、非常に骨を折つてゐた樣です。女親育ちであるから惰弱であると云ふ樣な誹りを受けまいと苦心した母は、いつも最後には切腹と云ふ事を僕の小さい頭に吹き込んでくれました。

□

僕の育つた田舍は、豐後の森町と云ひ、耶馬溪の奥の新耶馬溪の其奥の山町で、山猿の棲む樣な寂しい片田舍であつた。

其頃、僕は川遊びが大好きで、母の眼を盜んでは拔け出して、山間の川へ遊びに行つたものです。其川には所々深い淵があるのでよく溺れ死ぬ子供があつた。それ故母は嚴に僕の川遊びを戒めたが、其云ふ事を肯かなかつた僕は、或時深い瀨へ辷り落ちて着物を濡らし、乾かす間もなく歸宅すると、母に眞裸にされて、疊敷に坐らせられ、宗家から戴いた大切の短刀を出して、お前は誡めても甲斐がないから切腹せよと云ひ、母も父に對して濟まないから直ぐ自害すると言はれた時は、今日でも恐ろしいと思はるゝ位僕の肝に銘じたのでした。

□

此母の苦心を外にして、僕の今はありません。僕は十六歳の時、母を郷里にのこして、獨り上京して宗家久留島家（子爵）へ入りました。然るに僕の家は久留島の海族衆（今の海軍々人の如きもの）から出たものであつたから宗家では僕を海軍々人にして家を嗣がせやうとした、けれども、僕は上京後間もなくクリスト敎の信仰に這入つたので將來宗敎文學で身を立てやうとし、遂に宗家から除籍されて今日の平民になつた。その時の母の失望悲しみは非常に僕を惱ましたが、必ずこれには報いる所があらうと決心したのです。その後母には宗家から金がくるので其方の心配はなかつたが、僕は苦學せねばならなかつた。後世の中へ出てから、郷里の母を招んで、十六年前病死する迄共に暮す事が出來た。母は隨分勝氣の猛しい女であつた、僕の聲の大きいなども母の聲に負ふ所でありませう。兎に角、殆んど全く父から離れて女の手一つで私を敎養し、武士的性格を持たしめた樣に努めて呉れた母に對して、僕は大いなる感謝の念を持つものであります。

久方の月の桂も折るばかり
家の風をも吹かせてしがな—菅公の母

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

青年の危機と指導者

生涯の幸不幸の定まる時　まさに大切な指導者の羅針

愛するものはこれをよく理解しなければならぬ。

誤解され易き青年

高島平三郎

口愛するは理解に初る

一體何でも物を取り扱ふからには其の物の性質を充分に知らなければならない。同じ機械を取り扱ふにしても、それが精巧であればある程尚ほ更ら然うである。故に人、殊に青春の危期、即ちデリケイトな、感じ安い變化しやすい時期にある青年を指導監督する人は、青年其のものを最もよく知る必要があるのである。人には男女共通の特色、性の特色、更に人々の個性の特色がある。故にこの三段の智識を保護者は持つ事が必要である。これを換言すれば青年をよく理解することである。タゴールは「愛とは全き理解の別語なり」と云ふた。青年を最も

口指導者の態度と用意

第一青年は最も誤解され易い時であると云ふ事を考へなければならない。少年少女の時は長者の命令のまゝに動いて居るが、この時代は、其の言其の命令を一々批評し或る時は破壊もし、或る時は抵抗もするのである。而しこれは此の時代の特色である故直ちにこれを惡人視し、放恣と呼び背德と云ひ、生意氣として叱責抑壓したならば、たとひ親子師弟であるにせよ、精神上には全く關係も無い、否寧ろ敵視するやうにもなるのである。故に指導者は、自己の青年期の事をよく考へて、沈着に冷靜に省ると同時に、之に關する専門の書を讀み、自ら起つて之を觀察して其の全體の傾向を察し、如何

六

なる時にも指導者は其の權力の下に之を抑壓するといふ事は避けなければならない。而して充分に彼等の境遇及び心理狀態に同情して、時としては自己の其の時代の經驗を語り、然して進む路を示し、或る時は彼等の未だ考へ及ばざる複雜なる社會を解きて參考に供する事が必要である。

口自覺を促して指導せよ

次に少年少女を取り扱ひたる態度とは全く變つて、徹頭徹尾指導者は青年自身の自覺を促すやうに計る位置に立つて行く事が肝要である。而して彼等の意志を啓發さするに務め、何事も彼等の中心の自覺から生じて善惡ともに、自ら制裁を受ける覺悟あらしむる樣に、導かねばならぬ。

口長所を發見して導け

第三には青年は男女共に個性が著しく表はれて、他人の意の如く其精神は傾かない、勿論多くの場合に父母長老の望みを容れて、これに適する進路を取る者もあるが、全く方向を異にして進まんとす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るものもある。此の時に注意するのは個性の長所を發見して、充分の希望と奬勵とを加へてやれば、多少精神低格者でもよく自己を活すことを得るのである。青年の時程他人殊に自己の尊敬する人から、自己の取るべき點を認められて感激するものはない。故に指導者は青年の缺點を見るよりも長所を見て之れを導くやうに務むるのが必要である。

□青年の指導者に望む

其の他一般青年の指導者に望む事は生物生理心理及び社會學の一般智識を有し、青年期の身體、特に性の關係それより起る精神の著しき發達、社會的の種々の關係を充分に洞察する事を務めていたゞき度いと思ふのである。

事前の備へ

佐藤任天

□常に一貫の大方針

人の目的は唯一つ、從つて敎育の大方針も唯一つ、即ち自由定命二而一、一而二の活道に由つて始中終一貫すればよいのです。唯一貫であるが故に刹那々々特殊の注意警戒を要する、而して刹那々々特殊の警戒をなし乍らも絶えず一貫の大方針を忘れてはならぬのです。

お尋ねの青年時代の男女青年はいはゞ温室から外間に移された草木、若しくは苗床から移植されたそれに似て居ます。急激に擴大された思想の翼を伸して縱横上下に飛翔しやうと試みる。けれ共彼等はまだ自由といひ得べき自由は習得して居らぬ、故に其の所謂自由活動は放縱となりて直ちに定命の埒に觸れ、無慘にも傷害を受ける。

□清醇の詩と家庭的實務

世人は一般に事前に粗慢にして事後に狼狽する、愚なる事だ。世の中は三日見ぬ間に櫻哉、青年は一夜にしてコレハ〳〵と驚く斗りに急變する、何事も泥繩主義では追つ付かぬ。いつも機の先を占めねばならぬ。青年期の敎育は幼年期から備ふる所がなくてはならぬ。更に遡つて父母先づ父母たるの學と德とを具へ、種子の生長に適する丈けの温暖と濕潤と更に日光とを具有する家庭を造り、幼時から清醇の詩と家庭的實務の勞働とを學ばしめて置くがよい、小供なら小供相應に唯一最高の理想を抱かしめ、詩により情操を養ひ、勞働によりて意志を訓練し、さて此れ丈けの備へが出來て居るならば過渡期に際して暴風雨が襲來しやうとも根本から壞はされる心配は先づ以てない。

□交友と讀書の制限

學校の敎育をあまりあてにしてはいけない、人格の敎育は矢張り家庭でやらねばならぬ、若し然るべき嚴師があるならばそれに一任して一切の敎育權を委ぬるが一番よい。只憾む其の適任者はあまりない。交友と讀書には細心の注意を要する、よい加減の理由の下に雜多なる部分的知識を與へることはよい事でない。分量を少くして徹底的に理會する樣な習慣を幼時から養ふべきである。性の敎育などは余計な御心配だ、無用の事だ。清醇の詩と實務の勞働で力強く推し通し、常に唯一眞實神の極立する事を確認せしむべきである。

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心身の素養

淺田みか子

□父亡き後

私は六人の子女を持ちまして、長男は今年中學を卒業し、高等學校に入る準備をして居り、長女は青山女學院に入學し、他はそれぐ\の學校に通つて居ります。

四年前に家族一同が一と通りならず敬愛して居つた父を亡くなしましたので、子女の教育は母の手一つに集つて參り、責任の非常に重きを覺えます。

然し父が世に在る間に殘してくれた家庭教育の方針によつて、子供達は何れも順潮に進んで居り、別段に親に苦勞をかけるやうなこともございません。

□充分の睡眠

そして子供達の頭腦をよくする事と、身體の健康と、精神の教養を與へる事とに、全力を注ぎました。子供達の頭腦をよくする爲めには、先づ充分に睡眠を取らせる事が必要と云ふので、生後百日間は、お腹一ぱい乳を飲ませて、出來る丈け靜かにして眠らせました。そして自然に眠つては居らなくなる程に成長しますと、抱いて外に出すやうに致しました。

其の後も年齡に應じて、夜は七、八、九時頃迄には寢かし、寢室は空氣の流通を能くし、臺所からも遠くして、足音一つ聞えぬやうにし、雨戸も外の部屋と同時に動かさなくとも濟むやうにして、自然に目の醒める迄、安靜に寢かせる工夫を致しました。

□實行し易い境遇

健康を計る爲めに、冷水摩擦がよいなどゝ申しても、爲難いやうにして置いては、實行が疎かになりますから、起床の頃を見斗つて、枕元に手拭を絞つて籠に入れて置いてやります。さうすると起きると直ぐ身體を拭いて着物を着るといふやうに、幼い間から怠らず自分でやるやうになります。凡てかやうな養生法で、病氣に罹らぬ方法を講じてやりましたので、子供等は至つて健康に成長して居ります。

八

□精神の指導

精神上にはどうしても基督教を信じさせるに限ると申す意見を持つて居りますが、然し決して強いは致しません。只實行の手本と境遇とを與へて、自然に其處に到達するのを待たうと云ふので、父はいかに仕事が堆く机に積れて居つても、日曜には必ず禮拜に出かけました。そして子供達は日曜學校に通はせ、殊に長男は英語の足しにもならうからといふので、ミス、ムーンといふ方の組に托してあります。この方が巧みに興味をつないで下さるので、樂しんで日曜には出席し、遠慮なく種々の質問を致して居りますが、まだ自身では受洗の域には達せぬと申して居ります。

□危機を感ぜぬ

青年の危機は瞬時の注意を以ては、よく切り啓く事は出來まいと存じます。やはり不斷に誘惑に陷らず、いかなる打擊に會つても失望しない丈けに心身に素養をつけて置くことが大切と存じます。さうすれば危機を危機とも思はずに過させる事が出來やうと存じます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

櫻を慕ひ來し 米國女詩人の死

帝國ホテルに訪ひし記者

□萬都の櫻は夢のやうに一夜に咲き揃つた過る十五日の午後でありました。帝國ホテルの知人から電話がかゝつて、日本の春を慕つて、遙々馬尼剌から來朝した米國女詩人モリラ、ノートン女史の危篤を報じ、只一人の親邊さへなき身を、せめては病床を見舞ふて、暖き一言なりとも聞かせてよとの頼みが有ました。未だ不幸にしてその女詩人の作に接した事もなく、况して一面の識さへなき身も、そゞろに淋しき人の身を忘れかれて、山と嵩む用事を手放して、早速ホテルを訪れました。

□病床に櫻の一枝なりともお目にかけたいものと、諸處を訪ねましたが、とうとう手に入らず、小菊のやうな草花を、籠に盛て携へ行ました。ホテルの玄關を入ると、例の英米佛露拐は伊太利人などの思ひ〳〵の華やかな裝ひした男女が、温室の花のやうに入り亂れて、茶を飲んで居ります。記者は其間を縫ふて、長い廊下を折れ曲り、遠く別館の一室に案内されました。眞白なベットに横つた人は、廣い美しい額を殘して、悉く骨と皮とに痩せ細つて居ります。注射の薬の香は高く二人の看護婦に護られながら、すや〳〵と眠つて居る手を執れば、木の枝のやうに細つて、僅かに温みが殘つて居ります。幻を見るやうに時々眼を開いては見巡らすので「お見えになりますか」と尋ねると、二三分してからやがて「見えます」と切れ〳〵に答へられるのです。暫らく手や腰を撫で丶居りましたが、もうこの世の痛みも苦しみも覺えず、刻々に天國をさして旅立つ人の如く見えましたので、人の慰みの誠に小さきを感じました。花瓶の櫻は、色なくホロ〳〵とこぼれて居ります。

□聞けば女史は誠にくすしき運命を持たれた方であります。「私は母の死躰から生れて、その俤さへも知らねが、やさしい繼母と慈愛深き父とに何不自由なく育ちました」と、ホテル取締役の木幕女史が、親身も及ばぬ看護をされた親切を喜びつゝ、快い日の折々身の上話をなされたさうです。女史の從妹は彼の米國で無冠の女王と歌はれたフラシス、ウヰラード孃ださうですが、女史も亦同じ血液を受けて居らるゝものか、筆の上で世界的の働らきをせられ、幾多の詩を作つて東洋の紹介に務められたさうです。日本への來朝も今度で四回目ださうです。こんなお話を伺つて居る間も、なほ母の懐にあるやうに女史は安らかに眠つて居られます。記者は枕許に花籠を置いて櫻の散らぬ間に、もう一度起たれるやうにと祈つて見返り勝ちに別れを告げました。

□基督教徒が受難日と云つて記念する廿一日の金曜日の朝、ノートン女史は遂に逝かれたとの報を得てまたホテルを訪づれました。復活祭に着るとて、揃へて置かれた雪白の上着に、白い靴下や手袋を穿めて、石像のやうに横つて居る胸には白百合の香ひ高きが置れてありました。いづこにも天に昇る梯子は等しく架けられてあるとの言葉を現實に見るやうに、ノートン女史は、夢寐にも慕うた櫻咲く日本に來て、愛する日本人の親切な看護を受け乍ら、安らかに昇天されました。

その遺骸はいかにも靈のすらりと抜けた空胴のやうな感じを與へました。暖爐の上には、劇中の婦人のやうな女史の若い美しい寫眞を初め、既に亡き父や母や繼母の寫眞が飾られて有ました。枕許の祈禱書は木曜迄栞が進んで居りました。女史がホテルに預けた金もこの世の精算を終ると同時に丁度盡きて居つたさうであります。詩のやうな最後を遂げた女史の遺骸は、横濱領事館に引取られ、廿五日同地の外人墓地に厚く葬られました。

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

端午の節句と子供

學習院幼稚園主任　野口幽香子

□幟は成るべく高く

私自身としては端午の節句に就ては、雛の節句ほど、別に考へも持ちませんが、然し子供の年中行事の一つとして、捨て難いものであると存じます。鯉幟りを建てるならば、出來る丈け高いがよろしい。それを只大人が上げるのでなく、朝夕の取下ろしには何處迄も子供本位にして、子供自身が綱を引いてやらせるがよいと存じます。キッキッと高く上つて行く鯉を見つむるなどは、いかにも雄壯な爽快な事でございます。

□柏の葉の聯想

柏餅なども趣のある其の日の饗應でございます。柏の葉を見れば、いつでも幼い頃の端午の節句を思ひ出づるのは、やはり故郷を持たぬ現今一般の都會の子女には大切な事でございませう。節句などに關聯する迷信的の事は、成るべく避けて、只樂しく子供の日として遊び興ずる事を主として、その日の催しを致したいものです。

□この日のまとゐ

學習院の幼稚園では、この日赤や黄や青や、思ひ〳〵の色紙で可愛いゝ鯉を澤山に作り、それを取巻いて歌を唱ひ、柏餅をいたゞいたり致して遊びます。節句の歌に

大きな黒い親鯉に
小さな赤い鯉の子が
幾つもついて上つて行く
海のやうな大空に

と申すのがありますが、この歌を子供自身作り變へて、

青や黄の親鯉に
赤や紅の鯉の子が

と申すやうに、自分の作つた鯉の色を入れて歌ひます。かやうな折に、日頃上の空で歌つて居る歌が、ほんとうに自分のものとなつて、深い興味を覺えて參るやうになります。とにかくみづ〳〵しい若葉が茂り初めて、天にも地にも元氣の漲つて居るやうな五月、男兒の節句としてこの日を樂しむ事は、興趣の深い事と存じます。

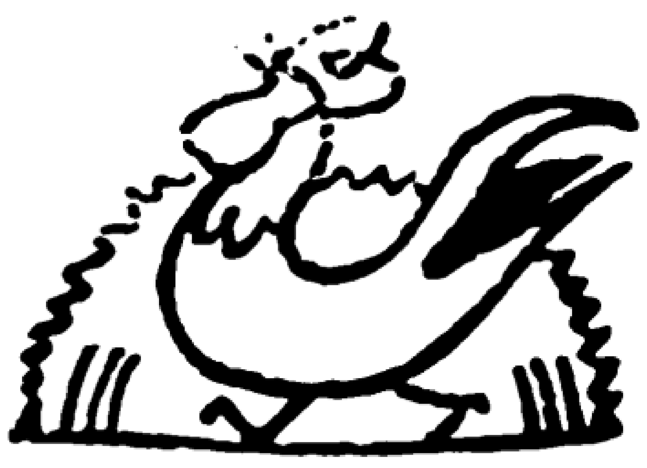
新刊紹介

□目白生活

向陵生活の姉妹篇として女子大學卒業の才媛瀧本種子さんが書かれたものであります。學問以外に自由な教育を受くる所謂大學生活（カレージライフ）の如何に樂しいかを興趣ある筆に描き出して居ります。女學校の生活を紹介すると云へば、茶化し氣味の筆を操つて人の好奇心をそゝるやうな書き振りの多い中に、この書のやうにふつくりと眞面目に、しかも讀む者をして厭かしめぬものは蓋し稀れでありませう。教師方の風丰を寫して居る中にも、校長の人格なんぞは活躍して居ます。殊に自然の美に富んだ目白の里を若い鮮やかな情緒を持つた人々に彩らせて居るその筆致は、綺麗な詩を見るやうであります。「遥にしのぶ故郷の空」といふ一節に

六月下旬の雨あがり、冷めたい風がぬれた土の上なひくゝ吹いて芝生一面に月草の花が一ぱいひらいてゐる「うすい花びらがひらりと開くのですよ、見てゐませう。そうら開きかけた。なんといふ愛着をひく花―あはい〳〵色ですね」「夜そつと開いて、朝はもう閉ぢてゐるしほらしい花、ほんとうにこんなに愛着をひく花はない―淸くて情ぶかい、異國の、秋の宮の人みたやうな」「いゝえ、これは愛と嫉妬の花でございますわ」「何にしても、涙を催させるやうに趣ふかい」白い月が東の空に浮び出た。「打ちうなだれし月見草、月に思ひなかたろやと…」歌ふ人があつた「まあいゝ歌、何處にございましたの」「えゝこれは私の叔父が、口すさびに作つたので、たゞこれだけ私が聞き覺えたのですの」「いゝ趣きの歌ですこと」私は聽き耳すましたのであつた。然しこの世は月と花との靜かなる沈默のみであつた。（發行所芝區白金今里町廿五彩虹社書房定價九十錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



衣食住に於ける汚ないといふ事

知らぬが佛のことが多い

薄田斬雲

▲胃病者は不精になる

白狀すると、私は大の不精者です。肺病は氣が冴へる汚ながる病です。胃病は鬱屈する不整頓病です。胃病者の獨身者は臥床を敷ぎゝりにし、二日も三日も室の掃除もせず、鼠の巣同然な生活をする様になります。

で、胃病者は、不精者、散らかし屋、不潔者、面倒臭さがりと云ふ事になります。私は毎日の樣に家內一同から不潔者の叱言を食ふ次第、何とも辯解の辭がありません。

▲最大不潔は婦人の頭髪

だが、私の不潔は、外見上の事で、深く考へて見ると、世間は私以上の不潔を平氣で遂行して居るやうです。奇麗好きな體裁の好いと言はるゝ人々も、多くは表面上の清潔で、其實不潔な事を澤山に行つて居ます。

第一に不潔なのは婦人の髪です、帽子を被らないのだから、塵介の多い都會の大道を歩くと、あの油こて〳〵の頭にはあらゆる種類の不潔物が附着するのです。其點では帽子を被る我輩の方は確かに清潔です。

食事前にあわたゞしく箒を持出して室內を掃く事も奇麗好きな婦人のやる事ですが、一旦天井に飛散したごみが丁度御膳立の上に落て來るので、之は禁物です。

▲知らぬは佛の餅菓子

餅菓子類の中には鹿の子など云ふ大の不潔物が最も賞味されます。鹿の子と云ふ菓子は、小豆を一ツ一ツ手で付けたものです。火にかけて食ふ譯にも行かない難物です。其他、卷き煎餅、二ツ折り煎餅など、皆な職人の手が丁寧に當つて居ます。燒いたまゝとか、蒸したまゝに餘り職人の手のかゝらぬ菓子は滅多にありません。夫れに菓子屋の小僧の手を御覽なさい。「君子は庖廚を遠ける」と言ひますが、尤もな事で、知らぬは佛とは能く言つたものです。清潔、不潔の問題も世間並に解決すると、外見の體裁に止まります。菓子器には蓋がありますが、茶盆に蓋付きのものはありません。此頃はやつと蓋付きの湯呑みが流行し出しました。

神經過敏に、痰壺や便所の消毒を勵行する警察が、灌佛會の御茶を、參詣人が飲んだり目を洗つたりするのを禁止しないのも尻拔けの骨頂です。

▲下等な物却て清潔

刺身、口取りなど一向安心のならぬ代物です。料理人、女中の手を經て、我等の口迄來る間を考へたら、眞の清潔屋は箸を着け得ないでせう。私は刺身を食ふ時にはコップに水を入れて膳に載せ、一片づゝ先づ此の水に浸して取上げ、然る後醬油を付けて食ふ事を考へました。又握りすしなる物も感心しない製造法です。すし屋の爪や手や口を注意したら隨分拙い者になるでせう。其點へ行くと甘酒やゆで小豆おでんなど熱湯的の時は却て清潔です。牛鍋なども安心がなります。

▲茶人の潔癖を嗤ふ

要するに、日本人は茶人です。一杯の茶を數人が順廻りに啜るのが禪味ださうです。茶人の潔癖さは整頓して居ると云ふ事です。臭い錢湯へ浸つて潔癖がる樣では駄目です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無錢療法（二）

某醫師談

風邪を引いた場合
解熱劑の濫用は危險

□風邪は中々複雜した病氣で、馬鹿に出來ないものでありますが、その原因の明かな、例へば夜冷い空氣に中つたとか、薄着をして寢たので鼻がつまつたり、嚔が出たり、少し熱が出て、輕い頭痛を覺える位のものは、發汗するのが一番よい樣です。

□何でもかでも直ぐ解熱劑を飮む人がありますが、あれは却て危險で、素人が買藥のアンチピリンか何かを分量もよく調べずに飮んだ爲めに、中毒を起して、皮膚に發疹が出來たり、甚しいのになると、命まで危くした例が澤山ありますから、氣をつけねばなりません。

□この時に簡單な害のない療法は、俗間にもよく用ひられて居る溫い飮料を澤山取つて、充分蒲團にくるまつて寢る事です。これには「ポンス」とて、橙の汁に砂糖を澤山入れ熱湯を注いだものを、一合入りのコップに一杯か二杯續けて、一と氣息に飮んで寢ます。そして蒲團を暑い位かけて居ると一時間位たつと充分汗が出ます。この時にタオルか何かで身體をすつかり拭きとり、出來るならば新しい寢衣と取り換えて、又よく蒲團をかぶつて寢ますと、翌朝は大抵さつぱりと癒つて居ります。ポンスの無い時には、玉子酒を作つて熱くして飮む人もありますが、利き目は同じ事です。

□なほ發汗した場合に、それを拭き取らずに居りますと、その汗が再び蒸發する時に、蒸發熱を身體からとつて、却つて惡寒を感ずる事がありますから、汗を手拭で拭きとる事が大切です。

肩や腰の張る場合

□肩や腰の張るといふのも、複雜な意味がありまして、時には重大な病氣の初期、又は重い病氣の症狀の一つとして來る事がありますが、働らき過ぎたとか歩き過ぎたとか、原因のはつきり分つて居る場合には、入湯と按摩が一番よいと申す一言で盡きます。按摩は本職が手近になければ、子供に叩かせても効があります。

十二

子供の智慧

□灰を撒けば花が咲く

芳雄さん（ロツ）はお婆さんがお庭の散つた花を見ながら「惜しいことだ、もう散つて終つた」と仰しやるのを聞いて早速に「お婆さん、灰を撒けばいゝぢやありませんか」と申しました。花咲爺の應用が立派にされましたので、大笑ひしました。

□小さい共鳴

三保子さん（七ツ）は自分の讀んで居る雜誌に、一人の子が刺を足にさして痛がつて居る畫と說明があるのを頻りに見ながら、一人でニコニコして笑つて居りました。その二三日前に自分が惡戲をして手に刺をたて、泣いた事から、共鳴を覺えたものと見えます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金魚の飼方（一）

千葉晩香

□梨の花や櫻草が咲き初めます頃には私の所の金魚は、何時も一番子を產みます。金魚の卵は粟粒よりか少し大きい位のものです。藻に產み付けた卵がドレモドレモ孵化するかと謂ふと、ソレは左様に極まつて居りませんのです。同じ卵でも透き通つた卵の中に一寸黑い點の様なものがありますものなれば、十中の八九迄は孵化致します。若し之れと違つて卵の中が白く透き通つて居りますのですと、ソレは多く孵化せぬのです。

□此黑點がある卵は、雄が精液を注ぎかけた卵である。透き通つた白い卵は產卵後精液を注ぎかけぬ卵です。金魚の雄は雌が產卵してから、其跡から精液を注ぎかけて歩くのです。其精液の注がれません卵であると、孵化せぬのです。

只今頃池の面を見ると、金魚は矢鱈に駈け廻りまして、二三尾宛連れ走つて居ります、而して水面の藻に卵を着けて居りますのです。

ソレを見たならば、其卵の着て居る藻を、別の桶に入れて、日當り能き所に置くと、忽ち孵化するのです。先づ產卵後十二三日經過すると、大抵は孵化するものです。孵化した魚は至つて微細なものですが、生れた翌日から最早水中を泳ぎ廻つて居ります。此經過を俗に藻放れと謂ふのです。

□若し又「ランチユウ」の様な良種で、自然一定の桶又は池に飼養されますものであると、其桶に藻を入れて卵を着けましたのを認めて、其卵の着て居る藻を別の容器に入れて其孵化を待つのです。藻放れ後の管理方法は次號に紹介しませう

端午の節句菓子

櫻井ちか子

お節句に柏餅と共に子供に與へて一番喜びさうなお菓子を、一つ二つ御紹介致すことに致しました。

△白雪　先づ三個の卵の白味と黃味を分け、白味を充分泡立てゝ置きます。次に玉蜀黍の粉大匙三杯と、鹽一と撮みと、水三合を鍋に入れ、攪きませながら煮立て粘らして火から下し、直ぐに白味を入れてよく攪き交ぜ、鉢へ移し、其の儘冷やして置きます。そして次のやうな黃色ソースを作ります。

前に殘した卵の黃味三個と砂糖一合とをよく煉り交ぜ、コンスターチ茶匙一杯と牛乳一合とを加へて攪き交ぜ乍ら煮立て、粘つた時別の鉢に入れて冷ますレモンかヴアニラの香料を加へ充分冷やして、前の白雪を小皿に盛つて其の上に注けて食べるのです。以上の材料で六人分出來ます。煮ます鍋は陶引きの平鍋が宜いのです。コンスターチの代りにコーンフロアーを用ひてもよろしい。

△寒天菓子　西洋寒天ならば水一合に付き二匁五分、日本のならば二合に付き一匁の割合です。西洋寒天ならばさつと洗ひ、日本寒天ならば洗つて水を絞り、其の中へ前記の割で水を入れて暫時浸けて置いてから、其の中へ砂糖を水一合に付き大匙二杯の割に入れ、攪き交ぜながら煮ます。煮立ちましたらば水漉で越して器に入れますと日本寒天は二時間、西洋のならば三四時間でかたまります。此を隨意の型に切つて皿に盛ります。眞白の色にしたい時には水の代りに牛乳を用ひ、赤色の時にはいちごの汁又は紅を加へ、酢味は煮る前に夏蜜柑の露を大匙一杯を入れます。これを一所に切つて盛り砂糖蜜を付けて出します。砂糖蜜に砂糖と水とを同量に入れ、二十分程煮て冷して置くと出來ます。兩者ともカステイラ等の菓子に添へて出しますのもよろしい。

右二種の菓子製法を、實地に練習して見たいとの思召の方の爲めに、櫻井先生は特に來週の水曜の午後をおさき下さいまして、材料實費を以つて實地に就いて御教授下さるとの事でございますから、お望みの方は早速本社迄御申込み下さい。材料費はいづれも二三十錢で上る事と思ひます。―記者

十三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

ハンニバル
檣拔きの妙計

斬雲

も一度ハンニバルのお話をします。

ハンニバルが、ザマの合戰に、羅馬の大將シピオの爲めに破られ、遂にカルセージの本國にも居られなくなりました。そこで一艘の軍艦に乘り、家來共と共に小亞細亞に逃げ延びやうとして途中地中海の或る島に碇泊しました。

此時、羅馬ではハンニバルを捕へやうとして數艘の軍艦を出して後から追つかけて居たのですが、島の人民は然うとは知りません、『カルセージの大將ハンニバルが來た』と云ふので、一同大いに敬意を表しました。折ふし其の島の港には諸國の商船が數多碇泊し、今夜中にも羅馬やカルセージへ向つて出帆しやうとして居ます、若し出帆しやうものなら其の商船は海の上で羅馬の軍艦に出逢ひ、ハンニバルが其島に泊つて居る事を話すでせう、然うすると、ハンニバルは追つかけられて擒にされるのです。

そこで、ハンニバルは一計を案じ、『自分はカルセージの大將として小亞細亞へ使者として赴くのだ』と告就ては島の人民を招待して大振舞を開くと言ふ事にしました。島の人民は大喜びです。『雷名天下に轟いたハンニバル將軍の招待を受けるは、身に餘る光榮だ』と云ふので、皆々其噂をして居ます。

其時ハンニバルは、港に繋つて居る商船の船頭共に使者を差立て、『今日午後から濱邊に天幕を張つて諸君を招待し、盛大な宴會を開きたい、就ては天幕を張る爲めに、諸君の船の檣を殘らず貸して貰ひたい』と申入れました。

船頭共は寧ろ喜んで之に應じ、皆々檣を拔いて海岸に運びました。ハンニバルは之を柱にして大天幕を張り午後から島民一同を會して饗宴を張りました。

天幕の中に會した島民や船頭共は、待てども〱御馳走も出です、主人役のハンニバルも顏を見せませんので不思議に思つて騷ぎ出しましたが、誰れ云ふとなく『ハンニバルは前日ザマの敗戰から國民の信望を失ひ落人になつて外國に走るのだ』と傳へられました。

船頭共は之を聞いて『扨ては彼れに一杯食はされたか、早く捕へて恩賞に預れ』とばかり港へ出て見ますと、ハンニバルは自分の軍艦に乘つて疾く沖へ逃れて居ます。之を追つかけたいにも自分達の船の檣は天幕の柱になつて居るので急の間に合ひませんでした。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳

ブラウニング夫人（下）

□結婚後三年伊太利の寓居で男兒が出生した。此男兒の成長と共に母の健康は増した。家庭は益〻樂しく光あるものとなつた。

□伊太利に滯在する事四年にして此樂しき家族は倫敦に歸つて來た。其頃夫人の名聲は到る處に知られて居た。また妻として母として幸福であつた。健康も殆んど回復して居たやうであつた。愛兒を膝に乘せて伊太利の風光を訪ねて來た親友に、語つて得意であつた。

□傑作オーロラ、レイの世に出たのは一八五六年であつた。これは夫人自ら「我が作中最も老熟なるもの」と云つた。此著が出版になると賞讃の聲が四方から起つた。「當時の最も成功せる著書なり」と云ふ評があつた。また「沙翁に似た想像力がある」と云ふ評もあつた。そしてブラウニング夫人の名は不朽のものとなつた。

□良人の作世に不遇なるを見て、夫人は「二人の中にて良人こそ勝れて居るのに」と云つて悲んだ。しかし、いつかは其眞價の世に認めらるゝに違ひないと固く信じて疑はなかつた。

□樂しい結婚生活を送る事十五年にして一八六一年に夫人は良人の手に抱かれつゝ此世を去つたのであつた。臨終の時、天國の光景でも思ひ浮べたものか、「美しいですよ」といふ詞を再三くり返した。

□良人は夫人の死後二十五年間生きのこつた。魂はいつも夫人を追ふて、夫人の肖像の外は其心を慰むるものはなかつた。居室には金髪を風に吹かせつゝ花園に立つて居る少女の姿や、鳶色の重き髪を垂れて微笑を含んだ妙齡の姿や、精神的眼光の鋭い成人の姿や、夫人の肖像で一ぱいであつた。またその身のまはりにある道具も、左右にある圖書も凡べて夫人の記念の品ばかりであつた。

□夫人の死後詩人ブラウニングの名は漸く上り、ブラウニングの死後其詩の眞價値は認められて、遂にミルトンと匹敵するとまで稱せらるゝに至つた。夫人は地下に冥目して居るであらう。（翠子）

はぢらひ

安中花子

君と行く花の下道よき程のはぢらひ心有るも嬉しく

たま〳〵は思ひ出でつる日もありとそら言をだに人の言へかし

我が胸に消えて久しき其のかみの夢呼ぶとてか野ばら花咲く

故知らぬ涙にじみ來夕暮は我をさかしと言ひし君ゆゑ

此處にして君はいづこぞ白雲の湧きては消ゆる我が迷ひかな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説 **窮鳥**（下）

雲舟

四

次の電車が又停留場に着いた。「さあ、乘りませう」と牧野は女を促した。

女はその忙しない中に、「どうぞ、お名前をきかせて下さい」と言つた。

「い丶え、名なんてありません」と牧野は女の背中を押して、込合つた車掌臺の上に先きに乘せてやつて、自分もその後から乘つた。

電車は走り出した。女は人込みの中に顔を沒してゐる。牧野はその顔を後から覗いて見て、さも羞かしさうに邪氣ない風をしてゐる其心の中を讀まうとした。

大曲に來ると車内の人が動き出したので、牧野は又女を後から押して、車内に入れてやつて、自分もその後から入つた。

女は牧野の手に支へられて立つてゐる。

電車が大曲の角を曲ると、右の腰掛の隅の人が一人立つたので、「さあ、おかけなさい」と牧野は女を坐らせた。

前に坐つてゐた人は、大きな男であつたので、その後へ女が坐つても、まだ人が半分腰かけられる程に場所が空いてゐた。女は牧野を見あげて。

「あなたもお掛けなさい」と言つた。

牧野は言はれるまゝに淺く腰をおろした。そのために女の顔は自然と牧野の耳許に來た。女は囁くやうに。

「大變御親切にあづかりまして、どうぞお名前を仰しやつて下さい。さうすれば私の名前も申しますから」と言つた。

その聲は疳走つて高い。向ふ側の四十男が不審相に二人を見てゐる。

「名なんぞ申すのは止めませう」と牧野は笑つて、「あなたのお名前も聽かぬ方がよい」。「だつて」と女は少し甘へるやうに、「どうぞ後生ですから」

「いや、止めませう」と牧野は強い調子で、「名なんぞ名乘り合つた所で私共の生涯がこれから縺れ合うやうな事もございますまい。唯或る男と或る女で澤山です」。「でも、それでは」と女は尚も聽かなかつた。

十六

やがて電車は江戸川の終點に留つた。牧野は助けるやうに女を先きに下して、自分もそれに次いで下りた。

女は牧野と並んで歩くのを何んとも思つてゐないらしい。

「私は早稻田の方へ參るのですが」と牧野が言つた。「そこまで御送りしませう」

「でも、家まで來ていただくのは」と女はや丶尻込みした。

「い丶え、御家までは參りません」と牧野は口早に、「唯御近所まで參りませう」

「では、どうぞ」と女は嬉しさうに肩を並べて、江戸川の橋を渡つて、音羽の通りに出た。

「今日はどうして御一人でゐらしつたのですか。何故御主人と一緒ではないのですか」と牧野は女の丸髷姿から夫のあるものと斷定して恁う言つた。

「え、一緒に參る筈でしたが」と女は牧野の推測をなんとも思はずに、「主人はあやにく旅行中だものですから」

「あ丶、さうですか」と牧野は幾分女の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

素性に就て安心した。けれども女がどうして自分に言葉をかけたのか、この不審がまだ解けぬので、

「あなたはどうして私に言葉をかけなすつたの」とやさしく問ねた。

五

「え、私、ほんとうに」と女は牧野を見あげて、「困つてゐたのですよ、あの男につけられて」

牧野は直ぐ飯田町の暗に立つてゐた若い外套を着た男を思出した。「あの男つて」と牧野は眞面目に、「あの外套を着た男ですか」

「え、あれなの」と女はさも怖かつたやうに牧野に寄添つて、「有楽座で、あの男は私の隣のその隣に坐つてゐたのです」

「有楽座からですか」と牧野は少々驚いた

「え、さうなの、その時から私をつけるつもりでゐたらしいのです。いつも私の方ばかり見てゐましたから」

「さうですか」

「私は逃げるやうに有楽座を出たすのですが、あの男も直ぐ後から出ます、そして同じ外濠の電車に乗つて、私と一緒に飯田町で下りたのです」

「へい」と牧野は少し驚いた。

「それから私の側へ來て、種んなことを言ひますの、江戸川まで一緒に行かうの、一緒に御飯をたべやうのつて」

「まあ」と牧野は合槌を打つた。

「私は的切……と思ひました。でも遣り方が拙いではありませんか」と女はその男の誘惑した狀を思ひ出して、「で、私、言つてやりましたのよ。丸髷を結つてゐるではありませんかつて」

「それは痛快でした」

「え、晝間なら、私、怖くはないのですけれど」と女は訴へるやうに「こんなに夜おそいのですもの」「さうですとも」

「あなた、あの男につけられて、私が困つてゐるのを知つてゐらしつて」

「なんだか、少し變だとは思つてゐました」と牧野は女が驅け出したりした狀を思ひ浮べた。

「あの時には、誰れも他にはゐなかつたのですもの」と女はその心細かつた事を今更想ひ出した。

「でも、まあ、善かつたですな」と牧野は女を安心させるやうに言つた。

「ほんとうに、あなたのお蔭です」と女は感謝するやうに、少し頭を前に下げて「どうぞお名前を」と又せがんだ。

「名前なんぞはどうでも善いですが」さ牧野は又話を後へ戻してどうして、「あなたは、それでも私に倚り頼らうとする氣を起したのですか」

「え、私、あなたに頼らねばならぬやうになつたの」と女はすら／＼と答へた。

「でも、若しや」と牧野は語を次いで、「私もあの外套の男のやうに、あなたを害する心があつたらどうしますか」

「いえ、あなたは大丈夫よ」と女は何處までも邪氣なく、「私、さう直覺したの、どうぞお名前を」と又せがむ。「名前は言ひこなしです」と牧野は斷然と答へた。

やがて音羽四丁目の坂の曲り角に來た坂は暗い。牧野は女を送つてその坂を登つた。坂を登り詰めた所で、女は「私の家はあの門の家です」と言つた。

「どうぞ、御入りなさい」と牧野が言つた。

「私、永久に感謝します、どうぞ御名前を」と女はいかにも殘り惜しさうであつた。

けれども牧野は默禮して踵を返へした坂を下りながら、窮鳥懷に入るといふ古い語を思ひ出した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉御著初の儀　第四皇子澄宮崇仁親王殿下には廿六日青山御所內の澄宮御殿に於て御箸初の儀を行はせられたり。

◉本年貿易額豫想　阪口大藏技師曰く、本年の對外貿易は益す好況にして、四月中旬までの輸出超過額は約五千萬圓に達し、前年に比し既に著しき增加を示せり、即ち本年の貿易に關しては二樣の觀測あり、一は輸出入總額を十五億萬圓に上るべしとなし、他は尙ほ之れに二億圓を增加すべしとするものにして、前者は二億圓の出超と爲り、後者は二億五千萬圓の出超あるべしと觀測し居れるが如し。孰れにするも結局本年の輸出超過額は恐らく二億圓を下らざるべしと信ず云々。

◉日本の抗議と輿論　日本の米國に於ける移民法改正案に對する抗議は、華盛頓に大なる注意を喚起しつゝあり、中央政府は太平洋岸諸州に排日思想の張り居るを認め居るも、此際日本の惡感情を招くは、土地問題の未だ解決せざる今日米國には取りて甚だ不利なれば、雙方とも滿足すべき方法を講ずべしと稱し、民主黨下院內總理キッチン氏日本の抗議に就きて曰く下院は日本の抗議せる條項を削除するに同意すべきを信ず、上院の意嚮も亦同一ならんと、諸新聞の論調は日本の立場を認め、抗議を正解し、抗議の態度と提出せる時期に關し別に非難なきが如し。

◉府の補給學生　東京府が大典記念事業の一として曩に設けたる育英記念金規程に基き詮衡中なりし補給學生五名中の四名に、今般左の如く內定したれば近日指令（月額十圓）すべしと。

高等學校第二部電氣科入學松平正壽（府立第一中學校卒業）▲第三部藥學科栗原嘉名芽（府立第三中學校卒業）▲同圖案科二學年在學山本勇治（府立第四中學校卒業）▲同機械科入學川窪精一（府立工藝學校卒業）殘り一名は府立第二中學校より詮衡中。

◉露國救護班の引揚　一昨年來露國ペテログラードに於て、病院を開設し救護事業に從事したりし、我が遣露救護班は任務を終へて、本月廿五日、同地を引き揚げ、來月十日前後に着京の豫定なり。因に露國にては同班に對し感謝の意を表する爲めに、引揚げ後も日本赤十字社記念病院なる名稱の下に同病院の事業を繼續すべしと。

◉遊廓地認可の反對　大阪府警務部にては過日飛田に新遊廓の設立を認可したるより、婦人矯風會並に廓淸會にては決議文を廻し、一方本部の幹事、大阪神戸の支部長等は當局に向つて其の廢止運動を開始し初めたり。

◉ユリヤ孃の退京　我國交際場裡に常に楚々たる姿を以つて立たれたる露國大使令孃ユリヤ、マレフスカヤ、マレウヰツチ孃は、八年の長き日本の生活を終へて、來る三十日父君と共に歸國の途に着かるゝ筈なり。孃は母國に於ては名譽女官の資格を有せらるゝ事とて、歸國後は每日宮中に出仕し、尙ほ母國の爲めに大に活動なさんものと其日の至るを待構へ居る由。

◉日本日（ジャパニースデー）　婦人矯風會にては會長矢島楫子刀自の第八十四回の誕生日を祝福する爲め、四月二十四日午前十一時より赤坂の神風亭に於て祝賀會を開き午後引き續き親睦會を催したり。

◉女子大學十五周年記念　私立日本女子大學校にては、創立十五周年記念と、櫻楓會員に依つて設立せらるゝ御大典記念家政研究館起工式とを兼ねて、二十日午後二時より盛大なる記念式を同校講堂に開催したり。

◉小倉末子女史歸る　女流ピアニストとして其の天才を歐米の樂壇に歌はれたる小倉女史に、去る廿一日鎌倉丸にて歸朝したり、女史は四年前東京音樂學校を卒業後、直ちに獨逸伯林の王立音樂學校に入り洋琴科教頭バルド氏につき一昨年八月迄專心研究を續けたれど、國交斷絕と共に餘儀なく此處を引き揚げ米國に渡り、紐育、市俄古に於て天才閨秀ピアニストの名聲を恣にし今回歸朝したりしなり。尙ほ女史は近く音樂學校に教鞭を執る筈なり。

十八

◉阿蘇山鳴動す　阿蘇山は廿一日に至り俄然活動を開始し鳴動激しく遠雷の如き音響數里に亘り降灰甚だしく人心恟々たり降灰の爲桑種、麥の被害多し此の如き活動に四年振なりといふ。

◉ゴルツ元帥逝く　獨帝の寵兒歐洲大戰の原動力たるフォン、デル、ゴルツ將軍は十七日逝去したり。

◉ヴヰラ將軍生存すべし　曩に發見されたる死體は同將軍の死體にあらざる事判明せる故今や將軍の生存せる事疑ひなしと、されど米軍は同將軍の捕縛は到底不可能なれば此際撤兵するを可とすと唱へつゝありと。

◉露文豪轉地療養　ゴーリキイは嘗て病める肺病再發して醫師の言に依り、左したる重症にあらざるも、近く南部露西亞地方か、又は芬蘭かに轉地療養すべしとの事なり。

個人消息

▲前田鞭子（伯爵利同氏第二女）今回山縣公令孫川縣長吉氏と婚約調ひ二十一日午後五時築地精養軒に於て盛大なる披露の宴を催したり。

▲小原百合子（男爵小原駩吉氏令孃）前田伯爵の媒妁により伯爵東鄕平八郎氏令嗣彪氏と婚約なり五月二十八日日比谷大神宮に於て華燭の典を擧ぐべしと。

過去帖

▲小田川ゆう子（工學博士全之氏母堂）十九日午前一時老衰にて逝けり。享年八十三

▲東京監獄典獄木名瀨禮助（六二）廿三日腎臓病にて、▲シーメンス會社支配人高木澄三郎（四九）二十一日急性肺炎にて逝く。

公娼廢止運動費

本社宛寄附の分

（一口金五錢）

田中芳（十二口）大村粂代（十口）井上たみ（二口）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今井そで
細谷たま(五口)
井上秀
岡崎拡
手塚かね
野村花
仁科節
淵井しづ
佐藤靜
前田閑(十口)
吉田たま
伊藤てい
横田作
池田あさ
大野信井(十口)
舟山たい
中村貞榮
波多野蓮
小山茂
鈴木まさ(三口)
〆一百〇九口

武井てい
青木さし
三輪すま
甲賀藤
高山千代
山崎なつ
山本きん
中村常
加藤多美
山崎芳
長澤さし
内藤錫榮
山本たき
大槻ひろ
多羅間きぬ
若木さこ
小山順
武市綾
小池貞忠

石田利吉(二口)
淀野彩
西洞たみの
山口久
古谷米
工藤まそ
佐藤さく
流木たね
若原榮代
井上郁雄(五ヶ月分)
吉田けい
松山すげ
相場富士
黒瀬ごし(三口)
尾澤しづ
山下りやう
岡田一
高田さし
田村まさ
(以下次號)

編輯室より

▲公娼廢止運動費募集金に就ては皆樣の御賛助の多いのを見ても、もはや機は熟して居るやうに思ひます。折柄突如として大阪天王寺飛田に、失業者の救濟の名目の下に、先年燒け出された遊廓の再興を許したさうです。子女を愛する人ならば、わが家の周圍にこんな忌はしいもの、建つのを見逃しに出來ませうか。大阪の心ある人士は、却つてこれが爲めに蹶起する計りでなく、全國の人士に、もし今隣りに設けらるゝとしたらといふ考へと共に、一段の覺醒を與へる事になりませう。▲軒の鳩の玉子は、孵つて、まだ翼の生えぬ雛鳩は、温かい日を浴びながら、あぶなげに巣から出て參ります。太平の鳥の家族は、また數を増して、喜ばしげに見えます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、親族間の御依頼に應じます。但し裁判上の證據調査等の任に當ります。但し切と誠實を以て其の任に當ります。これには依頼者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越さるゝか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報(毎週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金貳拾錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢 △半年(廿六部)金壹圓拾錢 △一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙貼付)金廿五圓
△貳等(色紙の表頁)金廿貳圓
△參等(色紙の裏頁)金貳拾圓

注意
▲御注文に一切前金の事▲郵券代用には必ず一割増の事▲送金の爲替名宛に東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 東京支店 福音印刷合資會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

御婚禮夜會御化粧(出張來館共)

御當日は御化粧より御着服に到る迄懇切に御世話申上ます、

美顏術御婦人化粧所
理容館主 遠藤波津子
電話新橋一五一九 振替一四一〇

理容館特撰
化粧品

特製ライラック化粧水(金七十錢)
ハイジエニック化粧水(金五十錢)
クリーム(金六十錢)
理容水(顔用)白粉(金四十五錢)
同 煉(襟用)白粉(金五十錢)
固形ねりか白粉(金卅五錢)
ガーゼ手拭(金十五錢)
理容ベンチ(衣服垢取)(金十二錢)金卅五錢

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり。
ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地
英語專門私立 櫻井女塾
電話下谷八一五六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地(市ケ谷見附内)
電話番町六二番

南湖院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

一滴の水を用わずして如何なる汚れも同様になります
殆んど新調す
和洋服 外套インバネス コート 東
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニング
と染色を 丁寧親切 迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル 御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

齒科
ドクトル 富田貞一
日本橋區高砂町六
(久松町停留場より西一丁)
電話浪花五四〇五

殺菌と血止めに便利なる
【毒消し筆】
一本金拾錢
送料金貳錢
●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其塲所を殺菌す
●携帶至便●使用簡便●殆んど永久に用ひらる●是非一本を試みあれ
(注意)參錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す
發賣元 目白藥局
小石川區高田老松町十七
振替東京 三一六九二

●書籍取次販賣 送費無料
新本何でも送金次第直に送附(振替四四九六)
神田表神保町十
書肆 興樂房

産科、婦人科、小兒科
女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

家庭的改良下宿 機山館
麴町區飯田町一ノ七
九段坂下停留場傍

産婆看護婦 志願者募集
産婆六ケ月卒業看護婦五ケ月卒業規則書要貳錢
東京神田小川町
中央産婆看護婦學校 通信

速成生徒募集 個人教授
普通科五十種一ケ月
高等科五十種二ケ月
入所 入舍 隨時

袋物
生花、造花、摘細工、縫細工、綿細工、壜細工、儀式用折神、水引結方、和洋裁縫、
東京九段靖國神社横
大妻技藝傳習所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

婦人之友

定價金二十錢 郵送一錢

家庭圓滿號

半年(郵税共)一圓廿錢
一年(郵税共)二圓卅錢

舅姑別居の可否得失

佐々木吉三郎　内ヶ崎作三郎　上司小劍　富士川游　三谷民子　横井時敬　藤井健治郎　元眞よれ子
志賀重昂　孝田露作　宮田修　正宗白鳥　三輪田元道　安部磯雄　大村芳樹　德田秋聲
大澤謙二　岡田哲藏　下田次郎　小崎千代子　田川大吉郎　本多靜六　櫻井ちか子　佐々木信綱
嶋山春子　湯原元一　新渡戸稲造　棟居喜九馬　松浦政泰　斯波貞吉　麻生正藏　河上肇
佐治實然　山室軍平　杉村楚人冠　相島勘次郎　丘淺次郎　山脇玄　河田嗣郎　其他十數氏

名媛の生涯

文學博士　三宅雄二郎

名士多く名媛少し──名妓──桂公未亡人と日向夫人──ぽんたと濱の家おさん
文勢と綺譚!──女性教育家──名媛雅出せよ!──鍋島侯爵夫人

世間見ずの婦人と家庭の平和と

羽仁もと子

女はなぜに頑固なるか、女はなぜに嫉妬深きか、舅姑の無理解や夫の不品行に對して女のとるべき道は如何、例によりて情理を盡したる大文字

夫より受けたる感化・妻より受けたる感化

筆者男女十數名卅頁の讀物

▲盲從から明從へ ▲私は恬淡妻は熱心 ▲我儘がなほりました
▲田園が好きになる ▲夫の孝行に感じて ▲繼母の心が和らぐ
▲不和な家が圓滿になる ▲母の努力父を救ふ ▲禁酒は妻の賜もの
▲哲學者のやうな夫 ▲軍隊生活の感化 ▲緻密な夫と散漫な妻
▲二つの家風の融和 ▲妻の犠牲的生活と其の勝利

擴張第五周年記念 本社運動場、公開發表

長篇小説 朝の歌　佐藤紅綠

人形の如く親の手から夫の手に渡された順子は再び親の手に返された、彼は熟々女の無力を歎かすには居られなかつた、これから何んな運命が何んな處に彼女を運んでゆくだらうか。

繪物語 孤島の悲劇　松本雲舟篇　竹久夢二書

佛蘭西の名高い小説を本號より掲載し始む、譯文簡潔繪畫優麗宛然紙上の文藝活動寫眞。

東京雜司ヶ谷
婦人之友社
振替東京一一六〇〇
電話番町三六九八番

肝油服用者之福音

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

三百球入 壹圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各八錢

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番

體力精力増進に今が肝油服用時期

●呉服物なんでも

△問屋より直接取次故必廉價△市内は御報知次第持參地方は御年頃と品物とお知らせ頂き御送附致します

東京下谷區仲徒士町一ノ五五
齋藤ふく子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA